

第 3 号様式（第15条、第17条、第18条関係）

事 業 者 排 出 量 削 減 計 画 書

	☐ 新規 ☒ 変更
(宛 先) 京都府知事	令和 7 年 6 月 1 9 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
京都府福知山市長田野町1丁目48番地	株式会社G S ユアサモールディングス 代表取締役社長 酒井 政幸 電話番号： 0773-27-2621

主たる業種	電気機器具用プラスチック製品製造										細分類番号	1	8	3	1					
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則										☒ 第12条第 1 項第 1 号 ☐ 第12条第 1 項第 2 号又は第 3 号 ☐ 第12条第 1 項第 4 号									
計 画 期 間	令和 5 年 4 月から令和 8 年 3 月まで																			
基 本 方 針	全部門で当工場のISO14001環境マネジメントシステムをもとに、エネルギー消費効率の改善及び節電を図り、温室効果ガス排出量の削減を目指す。																			
計画を推進するための体制	工場長を統括責任者とするISO14001推進体制を基に地球温暖化対策の推進管理システムを維持し積極的に活動する。																			
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温 室 効 果 ガ ス の 排 出 の 量										基準年度 (令和 2 ～ 4 年度)		第 1 年度 (令和 5 年度)		第 2 年度 (令和 6 年度)		第 3 年度 (令和 7 年度)		増 減 率	
	事 業 活 動 に 伴 う 排 出 の 量										2, 288. 1 トン		2, 306. 2 トン		2, 121. 6 トン		2, 113. 7 トン		-4. 7 パーセント	
	評 価 の 対 象 と な る 排 出 の 量										2, 346. 5 トン		2, 306. 2 トン		2, 121. 6 トン		2, 113. 7 トン		-7. 1 パーセント	
	目 標 の 根 拠										設備更新による電気使用量の削減、再エネ電気の購入10%を目標とする。									
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途		原 単 位 の 指 標			基準年度 (令和 4 年度)		第 1 年度 (令和 5 年度)		第 2 年度 (令和 6 年度)		第 3 年度 (令和 7 年度)		増 減 率						
	工場		事業活動に伴う排出の量 (生産売上百万円)			1. 14		1. 10		1. 01		1. 01		-8. 77 パーセント						
			事業活動に伴う排出の量 ()											パーセント						
			原 単 位 の 指 標 及 び 目 標 の 根 拠			売上高の増加、設備更新による電気使用量の削減、再エネ電気の購入10%を目標とする。														
重 点 的 に 実 施 す る 取 組 の 実 施 計 画						基準年度 (令和 4 年度)		第 1 年度 (令和 5 年度)		第 2 年度 (令和 6 年度)		第 3 年度 (令和 7 年度)		備 考						
						0 パーセント		0 パーセント		12 パーセント		12 パーセント								
具体的な取組及び措置の内容	令和 5 年度					成形機1台を電動化に更新及びエア漏れ低減により、省エネに貢献														
	令和 6 年度					老朽化設備の更新により、省エネに貢献														
	令和 7 年度					老朽化設備の更新により、省エネに貢献														
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措 置 の 内 容					近距離者に対し自己の自動車等の使用をバイク又は自転車通勤への切替推進とアイドリングストップ														
	上 記 の 措 置 を 採 用 す る 理 由					公共機関での通勤手段が無いため														
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区 分					第 1 年度 (令和 5 年度)		第 2 年度 (令和 6 年度)		第 3 年度 (令和 7 年度)		備 考								
	森 林 の 保 全 及 び 整 備 に よ る も の							トン				トン								
	地 域 産 木 材 の 利 用 に よ る も の							トン				トン								
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの							トン				トン								
	グリーン電力証書等の購入によるもの							トン				トン								
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの							トン				トン								
合 計					0. 0 トン		0. 0 トン		0. 0 トン											
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場周辺の定期的美化作業及び廃棄物の分別再資源化																			
特記事項	代表者の変更 代表取締役社長 小倉 祥司 → 代表取締役社長 酒井 政幸																			

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第 2 条第 9 項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の 3 年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
5 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。